

## 特長

SRM-1/MK-2は、スタックスのSRシリーズコンデンサーイヤースピーカーを最高の音質でダイレクトドライブするドライバー・ユニットです。

- アンプ部とイヤースピーカー間にトランスが介在しませんから、トランスによる音質劣化がありません。
- 初段にFET、2段目に高耐圧トランジスターを用いたシンプルな2段構成により、情報量の多い素直な音質を実現しています。
- 音質上、好ましくない出力コンデンサーを取除いたDC回路です。
- シャーシおよび電子パーツから、音質に悪影響を及ぼす鉄などの磁性体を排除しました。
- プリント基板には、電気特性および耐久性にすぐれたガラスエポキシ製を使用しています。
- 電源部のフィルターコンデンサーは音響用として特にセレクトされたものです。
- 信号系の配線には良質の巨大結晶無酸素銅線を使用しています。
- 入力にバラ接続された出力端子を装備して接続の便をはかりました。

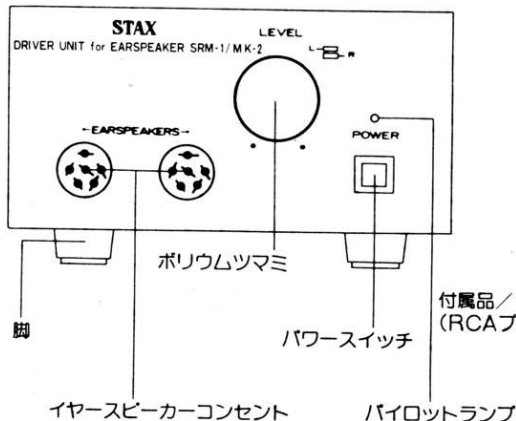
## 使用法

下図のようにSRM-1/MK-2はチューナー、デッキ、プリアンプ、プリメインアンプ、スタックスのコンデンサーカートリッジ用イコライザーアンプECP-1などのラインレベルプログラムソースを接続するだけで、スタックスのイヤースピーカーを最高の音質でダイレクトドライブします。

- (1) 聴きたいソースを付属のピンコードで入力端子に接続してください。プリアンプまたはプリメインアンプのプリアウト端子かREC OUT端子に接続しますと、アンプのセクターによってプログラムソースが選択できます。音質的には各機器をダイレクトに接続するかREC OUT端子から接続した方が有利ですが、十分な再生音量が得られないことがあります。このようなときは、プリアウト端子に接続してください。プリアウト端子が1組しかない場合は、SRM-1/MK-2の出力端子（入力端子と並列接続）にパワーアンプなどが接続できます。
- (2) ACコードをコンセントに、イヤースピーカーのプラグをイヤースピーカーコンセントにそれぞれ差し込みます。
- (3) ボリュームツマミを左に絞きってからパワースイッチを押します。
- (4) ボリュームツマミを右へ回して最適音量に調整してください。ツマミをL、R別に回しますとバランスを調整できます。

## 各部の名称

フロントパネル



リアパネル

